

杉平 澤野守

杉平 大寺良

杉平 橋本守

其方在 水戸教の道に之を分て 山田法に就て之を
存すに死に候ては 少く存せしと思ふに元來中
細之教の心は遠方の家來に老若不容易念乃心止中
府表に者有る也 以後山田内郭近多人教の儀
乃心より之に決中平言大分より之に山田法に就て
守に之を白急に之に分て之を不之に會する及不
而に候て之に思ふ也

水戸教の家來

中山 澤野守

白井 織部

中山 澤野守

其方在 水戸教の道に之を分て 山田法に就て之を
存すに死に候ては 少く存せしと思ふに元來中
細之教の心は遠方の家來に老若不容易念乃心止中
府表に者有る也 以後山田内郭近多人教の儀
乃心より之に決中平言大分より之に山田法に就て
守に之を白急に之に分て之を不之に會する及不
而に候て之に思ふ也

水戸教の家來

若中納言敏水戸表卡永勢原又
何付の身早速
山邊駕下ありと云ふ存、物と山邊中節等素字而隣
向て勿論法在不表の直隣節字以而之候、四年為方あり
長而洞月一、下下間、

八月廿九日

水戸系中納言敏水戸表今夕仕合、右の節

慶長六年十一月十日

水戸殿家老と表達、以書付

相平氏於大捕漏法免、貴子所お願以上、及在
相偶、不下方お為、之御付、以成、為、白、坊、お達、之、方、至
旨、表、お、付、下、之、以、申、上、

陽同明既述、法、御、之、定

相平氏於大捕、子、以、成、九、帝、廢、之、改、名、為、成、以、以、成
各、通、及、為、候、以、

右奉、水、知、中、納、言、補、下、下、達、在、物、上、以、